

# 令和7年度事業報告書

社会福祉法人 福信会

介護老人福祉施設  
短期入所生活介護 麦久保園



# 目 次

## I. 社会福祉法人 福信会

運営報告	1
沿革	2-3

## II. 特別養護老人ホーム 麦久保園

### [ 1 ] 各部署事業報告

看護部門 (看護職員/機能訓練指導員)	4
給食部門 (調理員/管理栄養士)	5
生活支援部門 (介護職員/相談員/介護支援専門員)	6-7

### [ 2 ] 項目別集計報告

稼働率・要介護度分布表・平均年齢	8
日常生活に対する介助等の状況	9
入浴状況・排泄状況・福祉用具等の使用状況	10
病院受診者数 集計表	11
栄養事業集計報告	12
会議・委員会報告	13-17
内部研修一覧	18-19
外部研修、出張一覧	20
行事報告	21
クラブ活動報告	22
面会人数	23
ボランティア受入れ	24
防災管理報告 避難訓練等実施状況	25

## III. 短期入所事業 (ショートステイ)

短期入所生活介護事業報告	
ショートステイ利用状況	26



# I . 社会福祉法人 福信会



# 事業報告

理事長 窪島裕也

## 【福信会】

人材確保の課題が続く中、令和7年12月より併設の短期入所生活介護事業の利用受入れを停止しました。退職や休業に伴う代替職員の確保が困難となり、先のシフト調整に大きな不安が生じる中で、夜勤体制を1名減とせざるを得ない状況となったためです。

職員の負担軽減と業務効率化を目的に、眠りSCANを100台導入するとともに、情報共有および連携ツールの活用に向けたWi-Fi環境の拡張工事を実施しました。また、1階フロアを全面改修し、職員休憩スペースや面会・イベント会場としての機能を強化しました。さらに、2階には看取り室を新設し、ご家族が安心して面会できる環境整備も進めました。

昨年度に発足したWTBASE事業では、交流研修や職員フォロー体制の構築、そしてセントラルキッチン新設に向けた計画が動き始めています。

物価高騰や人材確保の難しさに加え、世界情勢の不安定さが追い打ちとなり、地域介護インフラを守るための取り組みは一層厳しさを増しています。このような状況下ではありますが、「連携」を大きな柱として、利用者サービスと雇用を守る事業継続に向け、創意工夫を重ねてまいります。

## 【麦久保園】

教育体制の強化と連携の仕組みづくり、ならびに業務の標準化に取り組みました。教育面では、チューター教育および新入職員に対するOJTスキームを見直し、育成プロセスの明確化と質の向上を図りました。連携面では、午後の話し合いに多職種が参加できる体制を整えるとともに、新規入所受け入れ時の情報確認から担当者会議までの一連の流れを再構築し、代理人を含めたサービス計画立案体制を整備しました。

介護部門では、チームの課題把握や実践状況の共有、職員の変化を早期に捉えることを目的に、リーダーを補佐するサブリーダー制を新たに導入しました。試行年度ではありましたが、外部研修を定期的に取り入れたことで、選任職員の主体性が発揮される場面が増えています。

業務の標準化については、業務のムラや判断のバラツキを減らし、サービスの質の安定化と生産性向上を目標に取り組みました。介護・看護・給食など各部門の専門性を活かす基盤として、マニュアルの見直しやスケジュールの再構築を進めており、次年度も継続して改善を図ってまいります。



# 沿革

社会福祉法人 福信会

- 平成 4 年 9 月 小林福一氏が発起人として計画が始まる。  
11 月 30 日 地元折立自治会より同意書を頂く。
- 平成 5 年 3 月 15 日 秋川市より同意の旨の意見書を頂く。
- 平成 6 年 5 月 4 日 近隣の草花台パークハイツ自治会より同意書を頂く。  
12 月 26 日 建築確認許可を頂く。
- 平成 7 年 1 月 18 日 麦久保園新築工事に着工する。  
3 月 23 日 東京都より法人認可書を頂く。  
11 月 30 日 麦久保園の建物が竣工する。  
12 月 22 日 建物の引渡しを受ける。
- 平成 8 年 1 月 17 日 五日市保健所より診療所の開設許可を受ける。  
2 月 1 日 建物の所有権保存登記が完了する。  
14 日 五日市保健所へ給食開始届を提出する。  
15 日 東京都より老人ホーム開設の許可を頂く。  
20 日 利用者の入所が始まる。  
4 月 1 日 あきる野市と老人短期入所事業の受託契約を締結する。  
〃 日 東京都へ老人居宅生活支援事業開始届を提出し受理される。  
12 日 開園式を挙げる。
- 平成 9 年 7 月 2 日 麦久保園、折立町内会、草花台パークハイツ町内会の三者による災害活動相互応援協定の締結を行う。
- 平成 11 年 10 月 22 日 東京都へ老人居宅支援事業変更届を提出し受理される。  
[空床利用による老人短期入所事業の定員増(4床)平成11年10月1日付]  
11 月 1 日 東京都より介護老人福祉施設として介護保険事業書番号が付番される。(事業所番号1374900163)
- 平成 12 年 3 月 1 日 東京都より介護保険指定短期入所生活介護事業所の指定を受ける。(事業所番号1374900163)  
15 日 あきる野市より隣接市有地(2,002㎡)を購入する。  
16 日 東京都より生活保護法の指定機関として指定を受ける。  
4 月 1 日 介護保険制度移行に伴い指定介護老人福祉施設としての事業が始まる。
- 平成 13 年 10 月 18 日 定款変更の認可により評議員会が設立する。(評議員13名)  
これに伴い理事定数が従来の10名より6名になる。(社援第2618号、老発第749号)  
11 月 21 日 更生保護事業に関する活動に対し法務大臣より感謝状を受領する。
- 平成 15 年 2 月 26 日 増設の談話室及び居宅支援事業用の建物が竣工する。  
5 月 1 日 東京都より居宅介護支援事業所「ケアサービス麦久保」の指定を受ける。(事業所番号1375200159)
- 平成 16 年 7 月 28 日 あきる野市より隣接市有地(254㎡)を購入する。  
12 月 31 日 市有地購入による法人所有地の増加に伴い借地6筆の内、2筆を返却する。(441.65㎡)
- 平成 17 年 2 月 25 日 立川ゴルフパーク株式会社より隣接地(10㎡)を購入する。

- 平成 18 年 3 月 17 日 東京都より介護予防短期入所生活介護の指定を受ける。  
12 月 26 日 増築工事によりショートステイの定員増(専用7床・空床7床)及び居室の一部個室化(4床)を行う。
- 平成 20 年 11 月 28 日 借地6筆(224.86㎡)を購入する。
- 平成 21 年 2 月 20 日 3月26日付評議員会廃止に伴う定款変更認可を受ける。  
(20福保指指第1118号)
- 平成 25 年 3 月 31 日 環境省の補助金を受けガスコジェネレーション(小規模発電機)を設置。
- 平成 29 年 1 月 18 日 改正社会福祉法に係る定款変更認可を受ける。(平成29年4月1日  
施行)  
(平成29年1月18日付 あ健生収第371号)
- 4 月 1 日 新定款に基づく評議員7名による評議員会設立
- 令和 2 年 3 月 31 日 居宅介護支援事業所「ケアサービス麦久保」事業廃止
- 令和 3 年 6 月 30 日 空調機更新工事完了  
11 月 20 日 エレベーターリニューアル工事完了
- 令和 6 年 4 月 1 日 2024年度自転車等機械振興事業に関する補助事業 採択  
9 月 25 日 共同募金 第一次 A配分(整備費・特別事業費) 採択
- 令和 7 年 12 月 4 日 令和7年度次世代介護機器導入促進支援事業(パッケージ型)採択  
12 月 4 日 令和7年度次世代介護機器導入促進支援事業(次世代介護機器導  
入支援事業)採択

## II. 特別養護老人ホーム 麦久保園



## [1]各部署事業報告



# 看護部門

看護職員/機能訓練指導員

本年度は、業務スケジュール改定や緊急時対応研修の実施など、看護部門の基盤整備が進んだ。一方で、次年度に向けた課題も明確となった。今後も多職種連携を強化し、利用者が安心・安楽に生活できる環境づくりを推進していく。

## 【事業目標】

1. 他部署で連携し問題解決に向かうため、OODA ミーティング参加を習慣化する。
2. 医務内の各種マニュアルを見直し、業務のむらをなくし手順の統一を図る。
3. ケアワーカーと共に、心停止、誤嚥・窒息などの緊急時対応のロールプレイング研修を実施し、落ち着いて迅速な対応ができるように訓練を行う。
4. 利用者が安心・安楽な生活を送るため、褥瘡の予防と尿路感染発症率の低下・普通便になるような排便コントロールを目指す。
5. 『医務伝達ノート』を作り、OODA ミーティングで決定したことや適宜見直し観察が必要なこと、過去の決定事項の確認など情報共有の向上を目的とし、業務の標準化を図る。

## 【事業報告】

1. 機能訓練指導員は、可能な限り OODA ミーティングへ参加し、介護職員との連携を図りながら利用者の身体機能の把握に努めた。一方、医務としての参加は十分ではないものの、ワーカーからの依頼時には適宜参加し、必要な情報共有を行った。今後は医務としての参加率向上が課題である。
2. 医務業務スケジュールについて、リハビリとの共同業務、OODA ミーティング対応、フロアリーダー制への移行を踏まえて内容を改定した。これにより、業務手順の整理と一定の標準化が図られた。今後は運用状況を確認しながら、さらなる改善を進める。
3. 緊急時対応研修については、2月10日に研修を実施することができた。今後は、実施後の振り返りを通して課題を明確にし、継続的な訓練につなげていく。
4. 8月より排泄コントロール表の使用を再開し、便秘については5日目までに対応を検討する体制を整備した。陰部洗浄の研修はリーダーへの教育を完了し、今後はフロア職員への実践教育をリーダーへ依頼している。下剤調整についてはワーカーと連携しながらラキソ調整を進めており、排便コントロールの精度向上が引き続き求められる。
5. 看護師とリハビリ職が共同で「医務室伝達ノート」を作成し、OODA ミーティングでの決定事項や経過観察が必要な内容を記録・共有する仕組みを整えた。ワーカーからの依頼に応じて参加した OODA の内容も記録し、関係職種間の情報共有の質向上と業務の標準化に寄与した。

# 給食部門

調理員/管理栄養士

人員不足が継続する中で、調理工程や食材の見直しを行い、少人数での運用体制の再構築を進めた。また、厨房内の整理整頓や動線の見直し、報告体制の整備に取り組み、業務効率化と安全性の向上を図った。

## 【事業目標】

1. 厨房内の整理整頓と衛生管理の徹底、作業動線の改善を行う。
2. OODA を活用したメニュー開発および課題改善の仕組みを構築する。
3. 調理作業の標準化と品質の安定化を図る。

## 【事業報告】

1. 厨房内の整理整頓については配置や管理方法の見直しを行い、一部ルール化を実施したが、徹底には至らず継続的な改善が必要な状況である。

また、工程表の見直しにより作業動線の整理を行い、作業効率の向上を図った。

異常時の対応についてはヒヤリ・事故報告書の書式を作成し、報告体制の整備を行った。

2. 新メニューの開発については計画通りの実施には至らなかった。

一方で、日々の小会議において OODA を意識した振り返りと改善は前年度より実施されており、現場での課題共有と対応の意識向上が見られた。

課題リストの整備など、継続的な改善管理の仕組みについては未整備であり、今後の課題である。

3. 作業の標準化については、一部手順の整理を行ったものの十分なマニュアル化には至っていない。調理スケジュールについては最低限の基準を整備し運用を開始した。

また、外部研修等への参加は実施できず、技術・知識向上の機会確保が課題となった。

# 生活支援部門

介護職員/相談員/介護支援専門員

業務に関しては、できている部分もある一方で、課題解決に向けた視点やアプローチには依然として改善の余地がある。OODAにおいても、解決に向けた多職種の協働について、さらなる連携強化が求められる。

また、全体的な職員への業務確認や点検は継続的に実施していく必要があり、役職者を含む全職員への教育・指導が不可欠である。

## 【事業目標】

### 1. 利用者の生活環境、職場環境を整えます。

- 1) 利用者居室の整理整頓を行います。
- 2) 必要な情報を閲覧しやすいよう、PC内のフォルダ管理及び管理方法を共有します。
- 3) 福祉用具の管理場所の設定、使用状況のデータ化及びデータの更新を行います。
- 4) ステーションの整理整頓を行い、支援しやすい環境に調整します。

休憩スペースの差別化、掲示物の整理、必要に応じて物品購入等を行います。

### 2. ケアの標準化を図り、業務の生産性や専門職としての技術を向上させます。

- 1) ケアマニュアルの見直し、ケアマニュアルに沿った支援の実施状況を評価します。
- 2) 他施設での研修を設けていき、麦久保園での支援と比較しながら必要に応じてケアマニュアルに反映させていきます。
- 3) 新規入所者の事前情報をメール、OODA等で口頭説明し情報共有します。
- 4) グループの支援状況を把握し、必要に応じて内部調整を行います。
- 5) ストレングスモデルの理解を勉強会で深めていき、アセスメント技術を向上させていきます。
- 6) ユマニチュード、アンガーマネジメントの考え方を対人援助技術に取り入れられるように勉強会を開催していきます。

### 3. 課題解決にむけてのプロセスを明確し、多職種と協同し課題解決していきます。

- 1) 課題解決に向けて、役職の役割を明確化していきます。
- 2) 役職の役割として、①課題の早期発見、課題解決のための会議設定、②解決過程での指示・指導及び評価、③ケアマニュアルに沿った支援やOODAでの決定事項の実施状況の確認を行います。
- 3) 課題に応じて小カンファレンス、サービス担当者会議を設定していきます。

## 【事業報告】

1. 使用物品の使用手法や管理場所、データの更新業務については統一化を図ることができた。一方で、データの管理責任者の設定や書類の管理方法については、引き続き再検討が必要であり、委員会等の役割や日勤リーダーの業務として取り上げていく必要がある。居室環境の整備については、担当者によって実施状況に差があり、具体的な点検方法の確立には至らなかった。全体的な点検方法や点検頻度は見直しが必要なため、来年度の課題とする。

2. ケアプランの見直しについては、利用者の課題に応じて小カンファレンスを実施してきたが、ケアプランへの反映や開催頻度には課題が残っている。今後は、ケアプランを意識した支援が行えるよう指導や教育を行い、ニーズに応じて小カンファレンスや臨時のサービス担当者会議を開催できる体制を整えていく必要がある。情報共有については、情報共有ソフト「メルタス」の活用やOODAの実施により、一定の共有体制を構築できた。また、突発的な事象が発生した際にも、臨時的に会議を行い調整することができた。

対人援助技術の勉強会はワーカー個別に実施してきたが、未達成の部分も多く残っている。来年度は、さらなる技術・知識・実践力を高めるため、研修を継続して実施していく。

3. 来年度の課題として、役職者の役割を明確化するための研修を実施し、その達成状況についても定期的に評価していく必要がある。また、課題の早期発見や会議設定については、昨年度より意識的に取り組むことができたものの、今後も課題発見に向けた教育や指導の継続が求められる。

さらに、課題解決の過程に関する指導・教育については、適宜実施しているものの、実施機会の創出や解決過程の質の向上が課題として残っている。

基本的なサービス担当者会議については実施できており、プラン変更が必要な支援の見直しや、新たな課題が表出した際の迅速な会議設定についても、今年度は達成することができた。

## [2]項目別集計報告



## 令和7年度 介護老人福祉施設・短期入所生活介護(ショートステイ)稼働率

### I. 介護老人福祉施設(定員100名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
当月利用率	96.9%	96.8%	98.0%	98.2%	97.7%	97.2%	97.8%	98.7%	98.3%	97.9%	95.4%	94.6%	97.3%

### II. 短期入所生活介護(定員[専用7床+空床]/ R7年12月~[空床のみ])

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
当月利用率	90.5%	96.8%	98.1%	101.4%	93.5%	94.8%	88.9%	50.5%	12.4%	2.3%	15.3%	18.4%	63.6%

### III. 介護老人福祉施設・短期入所生活介護(総定員107名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
累積利用率	96.5%	96.8%	98.0%	98.4%	97.4%	97.0%	97.3%	95.5%	92.6%	91.7%	90.2%	89.6%	95.1%

要介護度分布表 R7 3/31

要支援		男	女
介護度1	0	0	0
介護度2	0	0	0
介護度3	19	7	13
介護度4	49	12	40
介護度5	26	5	20
合計	98	22	73
平均介護度	4	3.80	4.10

男性平均年齢	81.5歳
女性平均年齢	87.6歳
計	86.1歳

日常生活に対する介助等の状況

日常生活に対する介助等の状況		※令和7年3月31日時点	
動作の種類	介助の種類	対象人数	介助の種類による状況
食事	自立	65	自立：自助具などの装着可、標準的時間内に食べ終えことができる
	見守り	0	
	一部介助	20	一部介助：セッティング、おかずを切って細かくする、エプロンを着ける、箸やスプーン、器など一部介助すれば食事ができる
	全介助	12	全介助：全て介助を要する
着替え	自立	13	自立：靴、ファスナー、装具の着脱を含む
	見守り	0	
	一部介助	29	一部介助：標準的な時間内、半分以上は自分で行なえる
	全介助	55	全介助：全て介助を要する
整容	自立	10	自立：体を洗う、手や顔を洗う、髪をとかす、歯を磨く、髪をとかすなどの動作を全て一人で行う
	見守り	0	
	一部介助	41	一部介助：爪切り、耳掃除、歯磨き、髭剃り等について、一部介助すれば行うことができる。
	全介助	46	全介助：全て介助を要する
移動	自立	51	自立：歩行の自立、車椅子の自走が行える
	見守り	0	
	一部介助	15	一部介助：歩行時側方介助、車椅子自走時介助者による誘導
	全介助	31	全介助：全て介助を要する
移乗	自立	10	自立：ブレーキ・フットレストの操作含む、歩行自立も含む。
	見守り	15	
	一部介助	34	一部介助：軽度の部分介助、一部介助を行えば移乗を行える
	全介助	38	全介助：全て介助を要する

入浴状況・排泄状況・福祉用具等の使用状況

入浴状況 ※令和7年3月31日時点				
	一般浴（自立）	一般浴（介助浴）	機械浴	機械浴（リフト対象）
1人1週間あたりの入浴回数	2	2	2	2
入浴対象者数	0	45	52	7
1人1回あたりの入浴時間	10分～15分	10分～15分	10分～15分	10分～15分

排泄状況 ※令和7年3月31日時点		
	常時	夜間のみ（18時～6時）
オムツ使用者数	41	30
1人1日あたりの定時交換回	3回	
トイレ誘導者数	49	
1人1日あたりの誘導回数	4回～5回	
自立者数	7	

排泄の自立に移管する施設としての取り組み（自然排泄への取り組み、自立への援助等）	座位、尿意、便意ある方のトイレでの排泄に取り組んでいる。
--	------------------------------

福祉用具等の使用状況 ※令和7年3月31日時点			
	施設保有台数	使用者数	うち個人持込
車椅子	99	89	4
歩行器	9	9	4
エアマット	17	14	0
ポータブルトイレ	8	8	0
センサーマット	82	37	0
スライディングボード	8	4	0
リフト	10	13	0

## 病院受診者数

## 集計表

### 1・健康診断

ご利用者様 7月 実施

職員 5月・10月（夜勤者のみ） 健保加入者・希望者対象

### 2・御利用者 病院受診者数 病院内訳 令和7年4月～令和8年3月

病院名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
公立阿伎留医療センター	3	1	6	3	1	3	4	3	5	3	2	2	36
東京西徳洲会病院	2	2	1	4	3	4	2	4	4	4	4	1	35
青梅総合医療センター	2	5	2	3	1	4	2	1	2	2	1	1	26
目白第二病院	1	9	6	2	4	7	1	10	3	6	4	2	55
あいクリニック	1	1	1	1	1	2	1	1					7
松本耳鼻科	1												1
うしお病院		1											1
大聖病院					1								1
東海大学医学部附属八王子病院				1									1
昭高ワイメンズクリニック							1						1
北原国際病院							1						1
東京都立多摩総合医療センター							1						1
杏林大学医学部付属病院													0
合計	10	18	16	14	10	20	13	19	14	15	11	6	166

### 前年度（令和6年4月～令和7年3月）病院受診者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	19	14	10	22	18	15	22	10	14	13	13	8	178

### 3・病院受診者数 科別内訳 令和7年4月～令和8年3月

科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
整形外科	2	6	6	4	5	10	2	9	3	3	3	2	55
皮膚科	2	1		1		2			2				8
脳神経外科		1				1	1	1		3	1		8
内科	1		3		1	2	1	3	2		1		14
形成外科	1	2	2	2	2		1	2		1			13
精神科	1	2	1	1	1	1	2	1	1	2	1		14
循環器科	2		2	4			1	2	2	2	1		14
泌尿器科							3	1	1				5
耳鼻咽喉科/眼科	1		1						1		1		4
救急外来		3			1	1		2		2	2	3	14
胃ろう交換		2				1				1			4
婦人科				1			1						2
外科		1											1
消化器外科			1										1
内分泌科				1		2	1		1	1	1		7
呼吸器科									1	1			2
合計	10	18	16	14	10	20	13	19	14	15	11	6	166

### 令和7年4月～令和8年3月 実入院数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実入院数	4	3	2	2	3	1	1	2	3	0	1	7	29

# 栄養事業集計報告

## 〔1〕 栄養給与量（摂取量）／日

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミン(mg)		食塩
	(kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	B1	B2	(g)
給与栄養目標量	1504	58.8	42.6	626	6.2	0.86	0.86	6.7
令和6年度年間平均給与量	1521	58.4	48.2	512	8.3	1.1	0.92	6.2
令和7年度年間平均給与量 (実績)	1503	54.8	46.3	467	7.6	1.2	0.9	6.3

※ 食料構成に基づき献立を作成し、上記の結果となりました。

上記項目にはありませんが、VCの値が不足していますので、果物・ゼリー類・嗜好飲料等で補うよう努めて参ります。

## 〔2〕 食事形態及び人数

食事形態	人数
常食	25
キザミ	18
軟菜	36
ペースト	18
流動食(経管栄養)	0
合計	97

(入院者2名含む)

## 〔3〕 療養食

種別	人数
糖尿病食	3
減塩食	17
貧血食	16

(入院者2名含む)

※〔2〕〔3〕 令和8年3月31日現在

## 〔4〕 希望選択食【寿司の日】 実施回数【9回】

※出前の寿司、もしくは園で提供の寿司2種から1品選択の方式を採用しました。

※6月～9月は生もの提供控えるため寿司以外の選択有り。

ねぎとろ丼、しらす丼、鶏照り焼き丼、焼き鳥丼、ポキ丼（マグロサモ）、山かけねぎとろ丼、  
※内容重複月あり、順不同

## 〔5〕 スペシャルデー（デザート・手作りパン・寿司）と行事食 実施回数【8回】

デザートパーティング（6月）、夕涼み会（8月）敬老会（9月）、ハロウィンパーティ（10月）、  
クリスマス会（12月）、新年会（1月）、開園記念日にぎりたてマルシェ（2月）、ひな祭り（3月）

## 〔6〕 手作りおやつの日 実施回数【16回】

4月紅茶のパウンドケーキ、5月紅茶のパウンドケーキ、6月抹茶ババロア、  
7月レモンのパウンドケーキ、8月キャラメルプリン、9月パイナップルのパウンドケーキ、  
10月コーヒーパウンドケーキ、11月紅茶のパウンドケーキ、12月スイートポテト、  
1月・2月りんごのコンポート、紅茶のパウンドケーキ、3月レモンゼリー、りんごのコンポート

会議・委員会報告

経営会議

参加職種/ 管理職	開催回数/24回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所の運営全般に関する事項</li> <li>・ 人事、研修に関する事項</li> <li>・ 財務に関する事項</li> <li>・ 事業計画、報告、予算、決算に関する事項</li> <li>・ 各種調査、加算、助成金に関する事項</li> <li>・ 新規事業（小多機）公募申請に関する事項</li> <li>・ 連携推進法人設立に関する事項</li> <li>・ その他経営判断を要する事項</li> </ul>	

運営会議

参加職種/ 管理職・役職・部署代表者	開催回数/12回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画、予算、事業報告に関する事項</li> <li>・ 加算算定に関する事項</li> <li>・ 規則等の改定等に関する事項</li> <li>・ 各種改修工事等設備に関する事項</li> <li>・ 施設サービス全体の改善に関する事項</li> <li>・ 業務改善に関する事項</li> <li>・ 各部署間、部署内の連絡体制に関する事項</li> </ul>	

ワーカー会議

参加職種/ ケアワーカー	開催回数/13回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営会議内容より、各フロア・グループに関連する事項の精査</li> <li>・ 部署および各グループ目標管理</li> <li>・ サービス内容に関する事項</li> <li>・ 業務内容に関する事項</li> <li>・ E 夜勤業務に関する事項</li> <li>・ シフト調整に関する事項</li> <li>・ 新人教育に関する事項</li> <li>・ フロアー制に関する事項</li> </ul>	

## 医務会議

参加職種/ 看護師	開催回数/11回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各会議、委員会における決定事項の周知。</li> <li>・ 各利用者対応の検討、決定。</li> <li>・ 看護業務の見直しの検討、決定。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症及び疥癬関連の対策の周知。</li> <li>・ チーム連携への取り組みの検討、決定。</li> <li>・ 職員、利用者の健康診断対応に関する確認。</li> <li>・ 新入職員の教育</li> </ul>	

## 厨房会議

参加職種/ 管理栄養士・栄養士・調理	開催回数/10回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画の進捗</li> <li>①検食簿コメントの評価取り入れ分析と対策を検討・検食簿の表記変更</li> <li>②特別食の提供(お誕生者の誕生日に希望の1品提供・お寿司希望選択・行事食の内容検討、実施後の振り返り)</li> <li>・ 各部署との連携</li> <li>・ 栄養特別加算について報告</li> <li>・ 備品・消耗品・設備の状況を踏まえた発注と導入に向けた動向の説明</li> <li>・ 業務改善</li> </ul>	

## 各グループ会議

参加職種/ ケアワーカー	各グループ原則毎月1回
<p><u>主な議題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度の事業目標の確認</li> <li>・ 今年度のグループ目標</li> <li>・ グループご利用者の個別対応について</li> <li>・ 各委員会からの周知伝達</li> <li>・ 新人職員の教育について</li> <li>・ ご利用者衣替えについて</li> <li>・ グループ業務について</li> <li>・ 福祉用具の使用について</li> </ul>	

## 衛生委員会

参加職種/ 産業医・衛生管理者・事務局長・看護師・ケアワーカー・その他必要と認める部署	開催回数/12回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・職員健康診断、夜勤従事職員の健康診断</li><li>・インフルエンザ予防接種利用者職員予定通り実施</li><li>・ストレスチェック実施 → 集団分析結果より考察</li><li>・労働災害申請案件の確認と予防対策の検討</li><li>・労働事故に関する職場内リスクチェック</li><li>・その他職場環境の保全等</li><li>・腰痛予防：福利厚生</li></ul>	

## 防災委員会

参加職種/ 施設長・施設長補佐・防火管理者・生活相談員・ケアワーカー・調理員	開催回数/12回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・施設内防災設備、環境の巡視</li><li>・防災訓練の実施</li><li>・福祉避難所開設訓練の実施</li><li>・BCP、防災関係マニュアルの整備</li><li>・施設環境の問題点の抽出、改善</li><li>・火災受信機更新に伴う対応</li></ul>	

## 入退所検討委員会

参加職種/ 施設長・施設長補佐・事務局長・生活相談員・介護支援専門員・介護主任・看護主任	開催回数/12回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・稼働率</li><li>・入退所状況の確認</li><li>・入院者の状況確認</li><li>・入所希望者の状況確認、入所順位の決定</li><li>・ショートステイ利用状況の確認</li></ul>	

## リスクマネジメント/福祉用具委員会

参加職種/ 施設長・施設長補佐・生活相談員・介護支援専門員（安全対策担当者）・ケアワーカー・看護師	開催回数／12回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生したヒヤリハット、事故に関する検証、再発防止策の検討</li> <li>・介護のルールの確認</li> <li>・研修の企画、開催</li> <li>・救急対応マニュアル等の見直し</li> <li>・福祉用具の使用について</li> <li>・苦情について</li> <li>・OODAノートでの事故報告書とヒヤリハット</li> <li>・服薬マニュアルの周知徹底方法</li> <li>・夜間のE番巡視について</li> <li>・事例発表について</li> </ul>	

## 人権擁護/サービスマナー委員会

参加職種/ 施設長・施設長補佐・生活相談員・ケアワーカー・看護師	開催回数／12回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束該当事項の確認。</li> <li>・身体拘束の実施状況の確認（令和5年度は実施無し）</li> <li>・不適切対応の確認（該当ケースの有無）</li> <li>・言葉遣いについて</li> <li>・虐待防止指針の改定</li> <li>・サービスマナーの教育、研修について</li> <li>・虐待の芽チェックリスト（職員アンケート）実施</li> </ul>	

## 褥瘡予防委員会

参加職種/ 施設長・介護支援専門員・看護師・管理栄養士・ケアワーカー・機能訓練指導員	開催回数／12回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡発生者の介護計画立案、周知、状態報告</li> <li>・毎月褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書、高リスク者を確認、報告、周知</li> <li>・褥瘡予防に関する研修の実施</li> <li>・エアマット環境整備</li> <li>・体交用具、除圧用具の選定</li> <li>・LIFEへの入力</li> <li>・職員外部研修報告及び</li> </ul>	

## 感染症対策委員会

参加職種/ 施設長・介護支援専門員・看護師・ケアワーカー・調理師	開催回数/ 12 回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の状況確認、対応の周知</li> <li>・新型コロナウイルス感染予防及びまん延防止マニュアルの作成、BCP、感染症予防指針の見直し</li> <li>・感染症予防に関する研修の企画実施（年2回及びフロアー会議）</li> <li>・</li> <li>・感染予防のための物品（消毒液、ノロセットなど）の配置、使用状況の確認</li> <li>・感染症発生時の臨時委員会の実施</li> <li>・インフルエンザ感染症の状況確認、感染予防及びまん延防止マニュアルの修正</li> </ul>	

## 教育/医療的ケア委員会

参加職種/ 施設長補佐（看護師）・生活相談員・介護支援専門員・ケアワーカー	開催回数/12回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器取り扱いに関する研修の企画、実施</li> <li>・嚥下と食事介助に関する研修の企画、実施</li> <li>・他職種研修の企画、実施</li> <li>・特定行為業務（喀痰吸引）実施状況の確認</li> <li>・個別ケース（喀痰吸引、在宅酸素の使用等）の状況確認</li> <li>・ケアマニュアル、教育マニュアルの見直し、整備</li> <li>・チューター制度の構築</li> <li>・事例発表の確認</li> </ul>	

## イベントマネジメント会議

参加職種/ 施設長補佐・介護支援専門員・ケアワーカー	開催回数/12回
<u>主な議題</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動喫茶の企画、運営</li> <li>・悠々クラブの企画、運営</li> <li>・M G C の企画、運営</li> <li>・各行事の計画書、報告書の確認</li> <li>・クラブ活動の企画、運営</li> <li>・レクリエーションの外部研修の参加</li> <li>・小さな映画館の実施</li> </ul>	

## 令和7年度 内部研修報告

### 【全体研修】

研修科目	実施者	実施日	参加人数
人権擁護	委員長・委員	4月17日	12名
	委員	10月2日	5名
	動画視聴	6月1日～7月31日	63名
	動画視聴	11月1日～12月31日	57名
BCP	(防災)施設長	3月23日・24日	計68名
	(感染症)委員長	12月4日	10名
感染症予防	外部講師	6月19日	12名
	委員長	12月4日	10名
リスクマネジメント	委員長	7月3日	7名
		3月30日	5名
個人情報・プライバシー	施設長	10月16日	5名
		3月5日	3名
倫理・接遇	施設長	6月5日	7名
		1月15日	7名
看取り介護	相談員	7月17日	5名
		1月20日	4名

### 【介護職員研修】

研修科目	実施者	実施日	参加人数
チューター（ケア向上）	施設長補佐	4月10日	5名
		6月12日	3名
		6月24日	2名
		7月10日	7名
		8月14日	5名
		9月11日	4名
		10月9日	6名
		11月13日	5名
		12月11日	5名
褥瘡予防/ポジショニング	機能訓練指導員	1月8日	5名
		6月11日	3名
		11月5日	3名
移乗介助	機能訓練指導員	11月12日	3名
		5月7日	3名
		10月8日	3名

ノーリフティングケア	介護職員・機能訓練	6月3日	2名
		10月15日	2名
記録	介護職員	5月30日	3名
	施設長補佐	8月27日	3名
	介護主任	10月22日	3名
	施設長補佐	1月14日	3名
医療機器取り扱い	施設長補佐	6月18日	3名
		3月13日	3名
緊急議対応	介護職員	7月25日	2名
		2月10日	2名
認知症	施設長補佐	9月17日	3名
	介護リーダー	9月24日	3名
食事介助	介護職員	7月9日	2名
嚥下と誤嚥 食事姿勢	施設長補佐	6月18日	1名
		8月29日	3名
		1月21日	3名
排泄機能 排泄介助	介護職員	8月20日	4名
		2月11日	3名
介護保険制度	生活相談員	7月16日	3名
		1月7日	3名

### 【職種間研修】

研修科目	実施者	実施日	参加人数
嚥下	外部講師	4月28日	6名
栄養マネジメント	管理栄養士	7月23日	5名
		3月10日	3名
車椅子 ポジショニング	機器業者	4月4日	5名
口腔衛生	施設長補佐	5月13日	5名
	歯科衛生士	6月3日	9名

### 【その他】

研修科目	実施者	実施日	参加人数
事例検討発表	研究者	3月12日	11名
新入職員研修		随時	

## 令和7年度外部研修一覧

職種	職員	実施日	実施地	内容	主催者
ケアワーカー	青木愛美	4月18日	オンライン	アクティビティ・レクリエーション講習会	
ケアワーカー	平岡裕哉	4月18日	オンライン	アクティビティ・レクリエーション講習会	
介護部長	宇津木真吾	6月13日	TOC有明	関東ブロック総会・アクティブ福祉東京総会	都社協
ケアワーカー	松永智和	6月13日	TOC有明	関東ブロック総会・アクティブ福祉東京総会	都社協
ケアワーカー	山下大樹	6月13日	TOC有明	関東ブロック総会・アクティブ福祉東京総会	都社協
ケアワーカー	佐々木知加	6月21日	オンライン	リスクマネジメント研修	都社協
ケアワーカー	鈴木美穂	6月21日	オンライン	コーチング研修	都社協
ケアワーカー	平岡裕哉	6月11~20日	ベルサール神保町	認知症介護実践リーダー研修	都社協
ケアワーカー	グエンミングェット	6月23日	オンライン	接遇・サービスマナー	都社協
ケアワーカー	グエンミングェット	6月25日	神明園	外国人人材交流	
ケアワーカー	沖野裕	6月25日	神明園	外国人人材交流	
ケアワーカー	平岡裕哉	7月1.2.3日	ハートフル田無	認知症介護実践リーダー研修 他施設研修	都社協
介護部長	宇津木真吾	7月14日	栄光の杜	記録研修	キャリアワークス
ケアワーカー	橋本光平	7月25日	日の出ホーム	他施設交流研修	
ケアワーカー	山下大樹	8月5日	こもれびの郷	他施設交流研修	
ケアワーカー	滝澤瑞明	8月22日	飯田橋	東京DWAT登録研修	都社協
ケアワーカー	渡邊正宏	8月26日	文京区	ファシリテーション研修	
介護支援専門員	立川貴史	9月24日	飯田橋	東京DWAT登録研修	都社協
看護師	神部要子	9月25日	日の出ヶ丘病院	感染対策研修	
ケアワーカー	山下大樹	9月25日	日の出ヶ丘病院	感染対策研修	
介護支援専門員	早見将仁	9月25日	日の出ヶ丘病院	感染対策研修	
ケアワーカー	橋本光平	9月25日	オンライン	介護職員スキルアップ研修 医療的知識	都社協
ケアワーカー	橋本光平	10月20日	あきる野ルピア	アンガーマネジメント	あきる野老施連
ケアワーカー	板倉正治	10月20日	あきる野ルピア	アンガーマネジメント	あきる野老施連
ケアワーカー	小林俊一	10月20日	あきる野ルピア	アンガーマネジメント	あきる野老施連
生活相談員	原島淳	10月21日	飯田橋	生活相談員リスクマネジメント研修	都社協
生活相談員	渡邊江美	10月21日	飯田橋	生活相談員リスクマネジメント研修	都社協
ケアワーカー	渡邊正宏	10月29日	神明園	他施設外国人交流研修	
ケアワーカー	フオンティマイ	10月29日	神明園	他施設外国人交流研修	
看護師	加藤博子	10月30日	あきる野ルピア	看護職員と生活相談員連携研修	
生活相談員	渡邊江美	10月30日	あきる野ルピア	看護職員と生活相談員連携研修	
ケアワーカー	中村俊一	11月17日	オンライン	ハラスメント防止研修	
ケアワーカー	北浦幸子	2月25日	神明園	外国人交流会	
機能訓練指導員	佐久間勝也	3月12日	飯田橋	ポジショニング・シーティング研修会	高齢協
ケアワーカー	青木愛美	3月15日	渋谷区	レクリエーション研修	

# 令和7年度行事報告

今年度は、施設内での感染症の発症もあり中止せざるえない行事もありつつ、ご利用者様に季節を感じ、楽しんでいただけるような行事を企画しました。

実施月	行事項目	行事内容
4月	お花見ハイク (チューリップ他)	根がらみ前水田へチューリップや水車、鯉を観覧し、写真撮影をおこなっています。
	つつじ観覧	つつじが見頃を迎えたため、有名な塩船観音寺に観覧に行きました。生憎の天気ではございましたが、外気に触れ、ご利用者様も喜んでいました。
5月	ご家族懇親会	御利用者様の御家族様、御関係者様への事業計画説明や御利用者様に提供している食事などを召し上がっていただくなど、懇親を図っております。
	遠足 (ヒノトントンzoo)	当日は天候にも恵まれ、予定どおりの時間で外出することができました。気温はやや高く蒸し暑さもありましたが、皆様には帽子を着用していただくなど、暑さ対策を行いながら安全に過ごすことができました。ご利用者様は、動物を見学したり触れ合ったりしながら、終始楽しそうなお様子でした。外の空気を感じながら気分転換を図ることができ、たくさんの笑顔が見られました。「また行きたい」とのお声も聞かれるなど、大変好評な外出行事となりました。
6月	お花見ハイク (吹上菖蒲公園他)	当日は生憎にも雨天であったため、近隣の羽村市郷土博物館へのドライブとなりましたが、外気に触れただけでも良かったとの声を頂きました。
	デザートバイキング	色々な種類のデザートをご用意しました。「美味しい」ととても喜んでいただきました。また、普段御利用者との関わりが少ない厨房職員のコミュニケーションの場となり、直接意見を頂ける貴重な機会となりました。
7月	折立盆踊り	地域の盆踊りに模擬店を出し、地域貢献活動として参加しました。多くの方に来店いただくなど、地域の方々と交流が図れたと思います。
	七夕会	ご利用者様とお願い事を書いて笹に飾り付けを行いました。
8月	夕涼み会	花火を行い、季節を感じていただくことができました。また、スイカやメロンムースを召し上がり、皆様満足そうに過ごされておりました。
9月	敬老の集い	ご利用者みなさまで集まり敬老の集い開催し、節目の歳の方・長寿の方のお祝いをいたしました。余興も大変盛り上がり、ご利用者様も歌と一緒に口ずさむ様子もありました。節目の歳の方・長寿の方の写真を一人一人撮影させていただきご家族様へお送りしています。
	異文化交流会	外国から就労にきている職員のことをもっと知ってもらうために企画しましたが、他国の文化や習慣に触れ、見聞が広がったと共に、相手のことを知り、より連携が深まったのではないかと思います。
10月	小さな秋祭り	地域のお祭りの方々をお招きし、お囃子や盆踊りを披露していただくなど、御利用者も拍手で応え、大変喜ばれておりました。
	ハロウィン	海外のお祭りですが、職員が仮装を行いおやつを提供させていただき、雰囲気味わっていただき、とても喜ばれました。
	高尾山ハイク	周りの登山客に支えられながら景色・交流を楽しめる機会となった。予定していた登山道通りではあったが前日・当日の雨の影響もあり、土の道の移動が少々大変だった。
11月	あきる野市民文化祭	日頃、施設内でご利用者様が制作している作品を出展しています。展示会場で自分で作った作品や写真を実際にみてとても喜ばれていました。
	マス焼き	職員が調達してきたニジマスを炭火焼きで提供し、御利用者様に召し上がっていただきました。普段食べられないニジマスにととても喜ばれていました。
		中止
12月	クリスマス会	クリスマス会では、軽食とDrinkの提供をさせていただき、召し上がりながら大道芸の観覧や職員有志バンドの演奏を聴き、クリスマスを味わっていただく事ができました。
	餅つき	中止
1月	新年会	御利用者のお孫様が面会に来られていたこともあり、急遽大鼓の演奏を下さり、非常に盛り上げていただきました。また、何名かの利用者も歌って下さり、恥ずかしながらも楽しそうでした。
	初詣	当日は成人式ということもあり、晴れ着姿の方々を見かける場面もありました。ご利用者様から「おめでとうございます」と元気に声をかけられる姿も見られ、和やかな雰囲気の中で外出を楽しまれました。皆様大変喜ばれており、季節の行事を感じていただくとともに、外出による気分転換にもつながったご様子でした。
2月	節分	中止
	にぎりたてマルシェ	ご利用者様からは「美味しいね」「また食べたいね」といったお声も聞かれ、普段とは少し違った食事を楽しみにされている様子でした。食事中は笑顔も多く見られ、周囲の方と感想を話しながら召し上がるなど、和やかな雰囲気の中で食事を楽しまれました。今回の取り組みを通して、食事の楽しさや季節感を感じていただく機会となり、皆様に喜んでいただけたご様子でした。
3月	観梅ハイク	中止
	ひな祭り	介護職員がお雛様・お内裏様・神主に扮し、ご利用者様と一緒に競技へ参加することで、会場を大いに盛り上げてくれました。ご利用者様も笑顔で意欲的に取り組まれており、楽しい雰囲気の中で行事を実施することができました。
	いちご狩り	施設から近く、移動の負担も少ない場所で、大きないちごを楽しむことができました。車椅子のご利用者様も移動しやすい環境であったため、安心して参加していただくことができました。今後も、より多くのご利用者様に参加していただける機会を設けられると感じました。

## 令和7年度クラブ活動報告

### 書道、カラオケクラブ、悠々クラブ参加者

開催月	クラブ活動	ご利用者参加人数
4月	悠々クラブ (こいのぼり・兜づくり)	9名
5月	悠々クラブ 書道	6名 2名
6月	悠々クラブ (あじさいづくり)	8名
7月	悠々クラブ (七夕飾り・ひまわりスタンプ)	9名
8月	悠々クラブ (しゃぼん玉)	15名
10月	文化祭作品作り	5名
11月	悠々クラブ	4名
12月	悠々クラブ (クリスマスツリーなど)	7名
1月	悠々クラブ 書道	11名 10名
2月	悠々クラブ (手形)	7名
3月	悠々クラブ (ひな人形) 書道	8名 5名

※9月は1階の改装工事のため、実施せず。

## 令和7年度面会人数

	2階	3階	計
4月	57 人	27 人	84 人
5月	106 人	49 人	155 人
6月	80 人	42 人	122 人
7月	90 人	31 人	121 人
8月	44 人	63 人	107 人
9月	45 人	48 人	93 人
10月	54 人	45 人	99 人
11月	22 人	37 人	59 人
12月	25 人	43 人	68 人
1月	35 人	32 人	67 人
2月	29 人	32 人	61 人
3月	36 人	32 人	68 人
計	623 人	481 人	1104 人
家族等の面会があった入所者数		56	名

## ボランティア受け入れ報告

令和7年度ボランティア月別人数			
4月	8	10月	5
5月	7	11月	8
6月	8	12月	6
7月	11	1月	10
8月	19	2月	10
9月	6	3月	9
計	158		

## ボランティア内容

洗濯たたみ、ガーデニング、駐車場整備、季節ごとの飾り付け、収穫祭補助

# 令和7年度避難訓練等実施状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初期消火訓練	○					○						
日中総合訓練		○										
夜間火災想定訓練					○			○		○		
普通救命講習				○								
土砂想定避難訓練			○									
地域合同防災訓練							○		○			
福祉避難所開設訓練									○			
日中地震想定訓練												○
防災研修												
参加した職員の数	6	36	16	7	3	5	6	3	2	5		32
消防署への通知の有無	有	有	有	無	有	有	有	有	無	有		有
訓練実施記録の有無	有	有	有	無	有	有	有	有	有	有		有

消防署による指導	無
----------	---

### **Ⅲ. 短期入所生活介護 麦久保園**



# 短期入所生活介護事業報告

主任生活相談員 渡邊江美

令和7年度もご利用者が可能な限り住み慣れた環境で暮らせるようにご家族、医療、介護、地域と連携を図りながら、円滑な利用調整と情報共有により事業の目的及び効果的な運営に努めました。

## 【事業目標】

1. 在宅生活のニーズにあったサービスを提供します。
2. 在宅生活維持ができるように支援します。
3. 稼働率80%を実現します

## 【事業報告】

- 1、2. 担当ケアマネジャー・各サービス事業所と連携を図り、ご利用者世帯全体のニーズを理解し支援に努めた。また、緊急ショートステイ、措置入所も積極的に受け入れた。
3. 今年度は12月から専用床を廃止し空床のみの稼働に変更しました。空床利用のため予約が取れず結果、稼働率低下となってしまった。

## ショートステイ利用状況

	利用延べ人数(実人数)	利用延べ日数	平均利用日数
計	1630人(98)	1757日	17.9日